

令和6年度事業報告

1 警備業を取り巻く情勢の変化に対応した諸対策の推進

(1) デジタル化の推進による業務の合理化と利便性の向上

ア 埼玉県警備業協会総合センター施設の「施設貸出予約システム」の構築

従前は電話で受け付けていた施設（研修室及び屋内実技訓練場並びに屋外実技訓練場のセンター施設）の貸出使用について、ホームページ内に「施設貸出予約システム」を構築して運用するとともに、併せて、インボイス制度及び電子帳簿保存法への対応も図った。

イ 「講習予約システム」の円滑な運用

運用開始から3年目（特別講習は2年目）を迎える新任教育及び現任教育並びに特別講習の「講習予約システム」に関して、利用する協会の意見を参考にして、適宜メンテナンスを行い運用した。

ウ パソコンを活用した「いつでも現任教育」のほか「資格者現任（6時間）」新たに追加

エ eラーニングへの対応

全警協が実施するeラーニングへの適切な対応に努めた。（全警協の推奨するコンテンツを会員に紹介）

(2) 雇用対策の推進

ア 埼玉労働局、関係ハローワークとの業界PRセミナー並びに面接会の共同開催

これまでの活動により、ハローワーク当局の警備業界のセミナー・面接会の開催に対する理解と協力が深まり、連絡・調整もスムーズになってきたことから、令和6年度は、労働局への要請は協会が行い、ハローワークとの調整は各支部の活動の一環として実施した。

※ 開催状況

- ・ 令和4年度8会場8回 求人企業28社参加
- ・ 令和5年度9会場10回 求人企業35社参加
- ・ 令和6年度9会場11回 求人企業41社参加

○ 協会が実施したもの

労働局に対する協力要請、セミナー用リーフレット・面接用パンフレットの作成

○ 各支部が実施したもの

各支部代表企業による当該ハローワークとの連絡調整、開催日の決定、参加企業の募集等

○ 実施概要

- ・ 企画及び打合せは、各支部代表者または参加する企業の代表者を中心に進行
- ・ セミナーのみの開催であっても求人票を配布
- ・ 参加企業の決定は、「求職エリアによる企業選定が基準」とするハローワークが多いことから、関係ハローワークと地元企業の連携を強化するため、各支部内で募集を行い、ハローワークとの協議により決定
- ・ セミナーの進め方は、各支部の代表者または参加する企業の代表者によって進行

イ 埼玉労働局との連携

警備業に関する小冊子の作成配布とハローワーク職員に対する講演を実施した。

ウ 埼玉県産業労働部との連携

女性の雇用促進のため、活躍する女性警備員へのインタビューを埼玉県ホームページに掲載する等埼玉県と連携した事業を推進した。

エ 効果的な広報活動の推進

より多くの求職者を募集するため、ポスター・チラシの作成掲示、インターネットの活用（ホームページへのPR動画の掲載）等効果的な広報活動を実施した。

オ その他

- 全警協が進める自衛隊連絡本部との連携～退職自衛官の求人、検定取得等の検討
- 公的機関との連携の強化
 - ・ 公益財団法人埼玉県産業振興公社と連携し会員企業に対するDX講習会を実施
 - ・ 厚生労働省委託の埼玉働き方改革推進支援センターと連携し数支部で「働き方改革セミナー」を実施

(3) 青年部会の積極的な活動

ア 「闇バイト」防止のための講演会の開催

青年部会が講演を企画し、令和6年4月8日、城西大学坂戸キャンパスにおいて新入学生を対象にテレビコメンテーターによる「情報の正確性、危険性の見極め」についての講演会のほか、警備業の社会貢献をアピールし学生に対する理解を広める広報活動を実施した。

イ 警備会社のためのSNS活用セミナーの開催

令和6年11月29日埼玉警協総合センターにおいて、北原詩織氏によるSNS活用方法の講演を実施した。

ウ 県警察から「闇バイト」防止広報活動により感謝状が贈呈

「闇バイト」防止活動の広報・啓発活動が評価され、令和6年12月20日、警察本

部生活安全部生活安全総務課長より感謝状が贈呈された。

エ DX体験セミナーの開催

令和7年2月28日、埼警協総合センターにおいて賛助会員3社がDX体験ブースを開設し多くの会員企業がDXを体験した。

(4) 適正取引推進対策の推進

ア 適正取引、適正価格獲得のための活動や悪質なダンピング防止のための活動の推進
行政機関、政界、関係業界団体等に対する適正取引、労務単価向上の働きかけを実施した。

イ 適正取引のための「自主行動計画」の周知及び活用の推進

全警協発行のリーフレット「適正取引の推進」等を活用した会員に周知するとともに、各支部研修会等において情報共有した。

(5) 埼玉県と締結した「家畜伝染病発生時における緊急対策に関する基本協定」に関する発生時の対応

令和6年11月24日、行田市の家きん農場において「高病原性鳥インフルエンザ」が確認され、約2500羽のあひる（肉用）が殺処分された事例で、県からの要請に基づき、指定幹事会社等で対応した。

(6) 働き方改革関連法への適切な対応

働き方改革関連法への適切な取り組みを推進するための研修会等の開催

- ・令和6年4月に改正された労働条件通知書による労働条件の明示についての周知
- ・従業員数51人以上の企業の社会保険加入条件についての周知

2 警備員教育の実施

新任教育・現任教育の受講者数

総受講人員 1,467人（前年比-125人 -7.9%）

内訳 新任教育任 159人（前年比+17人）+12.0%、

現任教育 1,308人（前年比-142人）-9.8%

3 特別講習の実施

令和6年度は9回（前年比-3回）実施した。実施状況は次表のとおり。

種 別	級別	回数	受講者(人)	合格者(人)	合格率(%)	全国平均
施設警備	2級	2回	61	48	78.7(-5.9P)	60.4%
交通誘導	2級	5回	243	181	74.5(+3.4P)	64.4%
雑踏警備	2級	1回	51	45	88.2(+10.6P)	80.5%
貴重品運搬	2級	2回	46	35	76.1(-14.2P)	77.5%
施設警備	1級	1回	38	30	78.9(—)	66.0%

（注1）受講者総数 439 人（前年比-143 人）。「合格率」欄の（ ）は前年対比

（注2）合同開催（施設2級・貴重品2級）2回実施

4 受託講習の実施

埼玉県公安委員会からの受託講習の実施状況は、次のとおり。

(1) 警備員指導教育責任者・新規取得講習

種 別	回 数	受講者(人)	合格者(人)	合格率(%)
1号業務	2回	51	39	76.4
2号業務	2回	62	45	72.5
3号業務	1回	7	6	86.0
4号業務	1回	8	6	75.0

(2) 警備員指導教育責任者・追加取得講習

種 別	回 数	受講者(人)	合格者(人)	合格率(%)
1号業務	2回	23	11	47.8
2号業務	2回	13	13	100.0
3号業務	—	—	—	—
4号業務	1回	13	13	100.0

(3) 機械警備業務管理者講習

種 別	回 数	受講者(人)	合格者(人)	合格率(%)
機械警備	1回	4	4	100.0

(4) 警備員指導教育責任者現任（定期）講習（人）

1号業務	3回	160
2号業務	3回	170

3号・4号業務実施無し

5 協会実施の講習会

種 別	級 別	回数	受講者(人)
特別講習・予備講習	施設 2 級	2 回	3 8
	交通 2 級	5 回	1 4 0
	雑踏 2 級	1 回	2 0
特別講習・事前講習	施設 2 級	2 回	6 0
	交通 2 級	5 回	2 5 3
	貴重品 2 級	2 回	4 4
	雑踏 2 級	1 回	4 9

(注) 予備講習・事前講習受講者総数 604 人 (前年比+254 人)

6 研修会・講習会の開催

- 最新法令マスター研修会 (4/18) 「労働条件明示ルールの改正等」
社会保険労務士 高木 雄太 氏による講演)
- 経営者研修会 (8/27) 「デジタル人材がいない中小企業のための D X」
(株) N I コンサルティング専務取締役 東海林 一正 氏による講演)
- 労働安全衛生大会 (8/27) 「労働災害防止教育の重要性」
(労務委員長 井出 雅博 氏による講演)
- 指導教育責任者研修会 (7/25)
- 公共事業労務費調査に関する W e b セミナー (10/31)
- 警備会社のための S N S 活用セミナー・青年部会 (11/29)
- D X 体験セミナー・青年部会 (2/28)

7 教育体制の強化

- (1) 特別講習非常勤講師の募集及び選考
新たに交通 1 人の非常勤講師を選考し、委嘱した。
- (2) 特別講習現任講習は、全警協の計画により受講

8 労働災害事故防止活動の推進

- (1) 労働災害の発生状況と注意すべきポイント (転倒防止の特集) を取りまとめ、「警備員の労働災害防止のために～令和 5 年度労働災害の発生状況から～」と題する資料を作成、配布するとともにホームページに掲載した。
- (2) 第 26 回安全運転コンクールの実施 (4 月～9 月までの間で実施)
- (3) 労働局からの要請に対する対応
 - ・熱中症防止の徹底要請～埼玉県労働局長から要請文を受領 (5/31)、会員企業に事務連絡発出

- ・年末年始無災害運動決起式～埼玉県労働局（11/29）

9 防災訓練・防災地域貢献活動

- (1) 災害時等における地域安全の確保等に係る警備業務の実施に関する協定（仮称）の締結に向けた対応

令和6年7月22日、当協会から実態に即した新たな協定（案）を埼玉県（危機管理防災部）に提案した。

- (2) 防災訓練等

第45回九都県市合同防災訓練に参加し、防災フェア会場の警戒業務を実施した。
(10/20)

- (3) 災害対策用品の備蓄

大規模災害時における、地域の避難場所として活用できるよう災害対策用品を備蓄した。（飲料水、簡易トイレ、タオル、乾パン等）

- (4) 緊急の交通規制時等に関係車両等の駐車場所としてセンター施設の提供

警察車両、緊急工事車両、交通誘導業務等に便宜供与できるよう準備した。

10 「埼玉県防犯のまちづくり協定」等に基づく取り組み

協会、各支部が連携して地域防犯活動等を推進し、犯罪抑止、犯罪検挙に協力した。

- (1) ATM周辺で業務を行う警備員に対し、毎日、県警からの振り込め詐欺警戒情報を提供するため、ホームページに発生状況を掲示
- (2) 警察署が開催する防犯運動、交通安全運動のキャンペーン等への参加をはじめ、「子ども安全協定」、「路上寝こみ等による交通事故防止協定」に基づく活動への協力
- (3) 全国交通安全運動における警察本部及び関係警察署と連携した交通安全活動の実施

春の全国交通安全活動、秋の全国交通安全運動において、社会貢献活動の一環として、警察署が実施する出発式、キャンペーンに参加するとともに、小学校の近辺等において児童の見守り活動に従事した。

- ・出発式・キャンペーン～6支部15警察署において25回実施
- ・通学路での見守り活動～期間随時実施

警察、学校関係者、関係団体（交通・学校）等から、感謝の言葉が寄せられるとともに、今後の参加要請があった。

- (4) 表彰の受賞

- ・関東防犯協会連合会防犯功労者賞 炭谷 勝 氏（㈱トップセキュリティ）
- ・防犯荣誉銅章 井出 雅博 氏（㈱ケイビー・コム）
- ・埼防連防犯功労者表彰 大山 恭子 氏（㈱ 結）

11 広報・啓発活動等

- (1) ホームページを活用した効果的な発信
埼警協行事カレンダーをリニューアルし、従前よりも見やすい表示とした。
一般用トップページ及び会員専用ページに、それぞれに応じた情報を遅滞なく掲示した。
- (2) 機関誌の発行～機関誌「埼警協」を年2回発行し、会員、関係機関団体等に配布
- (3) 業界専門紙への情報提供と掲載記事（主な記事は次のとおり。協会と支部提供のみ）
『協会提供分』
 - ・06.4 青年部会「警備業」PR～若者ターゲット「闇バイト」城西大新生に注意喚起～
 - ・06.5 最新法例学ぶ研修会～労働条件明示ルールなど4テーマ～
 - ・06.6 定時総会の開催～復興、安全を祈願～
 - ・06.7 痴漢犯罪防止を・警備員、大宮駅で訴え～大宮支部～
 - ・06.9 法改正、立入検査で講義～指教責研修会～
 - ・06.9 「DX」テーマに研修～労働安全衛生大会も～
 - ・06.9 痴漢防止へ「啓発うちわ」～駅キャンペーンで配布・大宮支部～
 - ・06.10 通学路安全守る～県南支部～
 - ・06.10 「痴漢撲滅」機運醸成～鉄道警察隊から感謝状～大宮支部～
 - ・06.11 小冊子「警備の仕事Q&A」～求職者向けに作成・ハローワーク15カ所で配布～
 - ・06.11 各地で防災訓練～「フェア会場」守る～
 - ・06.12 労務費調査ウェブセミナー～10社が共に受講～
 - ・06.12 年末年始無災害運動・埼玉労働局で決起式～10団体、ゼロ災へ決意共有～
 - ・06.12 警備員表彰式～支えて下さった警備員を表彰～
 - ・06.12 「NGワード」研修会開催～青年部会～
 - ・06.12 闇バイト注意喚起に貢献～県警本部から感謝状・青年部会～
 - ・07.1 「賠償責任保険」「外国人雇用」～研修会開く・県南支部～
 - ・07.1 賀詞交歓会開催～信頼高める～
 - ・07.3 オールフリー研修会～非会員対象で5回目～
- (4) 埼玉新聞への情報提供と掲載記事
 - ・06.12 闇バイト防止公演・ポスターで感謝状～青年部会～
 - ・07.1 育成へ独自教育充実・PC講義と実技両輪
 - ・07.2 業界の信頼向上へ・新年の門出を祝う

12 行政機関・関係機関等との連携

(1) 関係機関の実施するイベント

交通安全対策協議会、暴力追放・薬物乱用防止県民大会、防犯のまちづくり県民大会、埼玉県特殊詐欺撲滅官民合同会議、万引き防止官民合同会議等については、開催されたものについては参加した。

(2) 埼玉県議会議員団への陳情（書面陳情）

労務単価の向上、人手不足対策への支援、関連予算の確保について要望書を提出し、県に対して要望として提出され、その対策について県から回答があった。

13 諸会議等

(1) 定時総会・役員会議

第 12 回定時総会	令和 6 年 5 月 24 日
理事会	4 回
会長・副会長会議	随時開催
支部長会議	随時開催

(2) 各委員会等

各委員会（総務、教育、労務、災害対策）は、必要に応じてそれぞれ開催
教育センター会議（非常勤講師委嘱式含む）の開催（2回）

役員候補者選考委員会の開催

教育研究部会、特別講習研究部会、講師選考委員会は、必要に応じて開催

(3) 支部活動

- ・ 浦和支部総会(5/27)、県北支部総会（6/6）、県東支部総会（6/18）、大宮支部総会（6/19）、県西支部総会（6/20）、県南支部総会（6/4）
- ・ 児童の見守り活動等を全国交通安全運動、全国地域安全運動に合わせて活動

(4) 全警協・関東連関係会議

ア 全警協

定時総会（6/5）

理事会等の会議は随時参加

全国専務理事会・労働安全大会（7/3）

全国殉職者慰霊祭（11/11）

全国青年部会会議(3/4)

イ 関東地区警備業連合会

定時総会（4/11）に出席

関東連会長会（11/19）

青年部会会議（1/15）

14 表彰

警備員表彰式の開催（11月28日）

- (1) 優秀警備員表彰（県警生活安全部長・会長連名表彰） 3名
- (2) 社会安全功労表彰 3名
- (3) 永年勤続表彰（20年、15年、10年、5年）275名
- (4) 労働災害防止標語・論文・ポスター 15名
- (5) 安全運転コンクール表彰 38チーム

15 その他

- (1) 協会員加盟の促進（加盟社284社 平成7年3月31日現在）
- (2) IT機器の導入等による事務の合理化・効率化の推進
- (3) 会員各社の運営実態に関する調査の実施
- (4) 労災事故防止標語入りカレンダーを作成
- (5) 会員親睦旅行、賀詞交歓会を開催